

小惑星「相森中学校」承認までの経緯

2006年10月21日

相森中学校創立60周年事業として宇宙航空研究開発機構(JAXA)入笠山光学観測所(長野県伊那市)において、当時JAXAに勤務されていた本校卒業生の中島厚先生とともに、先輩方(当時の在校生3年生2名、2年生6名)が小惑星探査を行い、15個の小惑星を申請しその内8個が新発見と認められる(仮符号取得)。

2015年12月17日

第8回クリスマスレクチャーin須坂 レクチャー2『信州製人工衛星「ぎんれい」の開発と可視光通信の可能性』の中で、中島厚先生(中島スペースエンジニアリングラボ 宇宙と農業資料館館長・信州衛星研究会事務局長・元信州大学大学院教授・ぎんれいプロジェクトマネージャ)が、相森中学校卒業生が発見した小惑星のうち5つに命名権を得たことを紹介され、命名を依頼される。

2016年2月

相森中学校創立70周年記念事業プレ企画として小惑星命名プロジェクトをスタート
小惑星の名前を全校から募集する。

2016年6月1日

「相森中学校」(Omorichugakkou)、四阿山、SHIROBATO70を申請していただくことに。

※「四阿山」は相森中学校校歌のはじめの歌詞「四阿嵐」にちなむ。

※SHIROBATO70は校章の白鳩と、創立70周年の70を組み合わせたもの。

四阿山はすでに命名済みであることがわかる。また、SHIROBATO70は数字が入っているため、却下となる。

2016年7月

あらためて全校から名前の募集と投票を実施する。

2016年8月19日

壮優輝(Souyuuki)、白鳩(Shirobato)、相森が丘(Omorigaoka)、ハッチ(Hacchi)を申請していただく。

※「壮優輝」は校訓、学校教育目標からとった、相森中学校の合言葉

※「相森が丘」相森中学校のある地域の呼び名の一つ

※「ハッチ」は須坂市動物園の名誉園長

2016年11月4日

創立70周年記念式典にて小惑星命名プロジェクトの報告を行う。「相森中学校」と「ハッチ」が申請中、「壮優輝」「白鳩」「相森が丘」は却下されたことを報告する。再度3つの名前を募集することを知らせる。

2017年12月8日

あらためて全校から名前の募集と投票を実施した名前の中から、ナガノパープル (Naganopurple), 須坂 (Suzaka), 湯っ蔵んど (Yukkuland)を申請していただく。

※「ナガノパープル」は、相森中学校隣の農業試験場で生まれたブドウの新品種

※「湯っ蔵んど」は須坂市にある日帰り温泉施設の名称

2017年1月19日

中島厚先生から、「相森中学校」が承認されたことが確認できたと知らせが入る。

2017年1月20日

お昼の放送にて、前生徒会長より全校に報告。

信濃毎日新聞、長野朝日放送の取材が入る。

毎日新聞朝刊に記事掲載「小惑星は『相森中学校』」

2017年1月21日

信濃毎日新聞朝刊に記事掲載「星の名は。★★★★★『相森中学校』」

2017年1月28日

須坂新聞に記事掲載「星の名前は『相森中学校』」

米国カルフォルニア工科大学のJPLのデータベースに掲載されています。

下記 URL をご覧ください <http://ssd.jpl.nasa.gov/sbdb.cgi?sstr=187531>